



平成27年7月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年3月12日

上場取引所 東

上場会社名 総合商研株式会社

コード番号 7850 URL <http://www.shouken.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役会長

(氏名) 加藤 優

問合せ先責任者 (役職名) 企画管理本部部長

(氏名) 太田 健一

TEL 011-780-5677

四半期報告書提出予定日 平成27年3月13日

配当支払開始予定日

平成27年4月15日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年7月期第2四半期の連結業績(平成26年8月1日～平成27年1月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年7月期第2四半期	10,985	7.9	662	8.6	680	11.2	428	15.5
26年7月期第2四半期	10,181	△0.2	609	6.2	611	2.1	370	3.8

(注) 包括利益 27年7月期第2四半期 473百万円 (8.2%) 26年7月期第2四半期 437百万円 (3.6%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年7月期第2四半期	142.49	—
26年7月期第2四半期	125.51	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
27年7月期第2四半期	12,136	2,528	20.8
26年7月期	7,662	2,079	27.1

(参考) 自己資本 27年7月期第2四半期 2,523百万円 26年7月期 2,074百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年7月期	—	7.00	—	8.00	15.00
27年7月期	—	10.00	—	—	—
27年7月期(予想)	—	—	—	10.00	20.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成27年7月期の連結業績予想(平成26年8月1日～平成27年7月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
通期	16,000	3.1	270	6.0	300	7.4	180	△1.2

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	27年7月期2Q	3,060,110 株	26年7月期	3,060,110 株
② 期末自己株式数	27年7月期2Q	55,950 株	26年7月期	54,902 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	27年7月期2Q	3,004,648 株	26年7月期2Q	2,954,375 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続きの対象外であります。なお、この四半期決算短信の開示時点において金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続きは終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績の見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予測のご利用にあたっての注意事項等については添付資料3ページ「1.当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善傾向に加え、原油価格の下落や円安の影響もあり、個人消費においても回復基調が見え始めております。その一方では、欧州をはじめとする海外景気の下揺れが懸念されており本格的な景気回復に向けての先行きは依然として不透明であります。

当社グループが位置する印刷・広告業界につきましては、インターネット広告は好調であるものの、他の媒体による広告宣伝費の削減は続いております。加えて、業界他社との競争激化の影響もあり厳しい経営環境が続いております。

このような環境の中、当社グループは、神奈川県伊勢原市に商業印刷及び年賀状印刷の生産が可能な複合型工場の新設を行い生産体制の拡充を行うことで収益基盤の強化を行ってまいりました。

その一方で、「モノづくりからコトづくり」をテーマに自社製作のディスプレイ資材を活用したイベント企画の受注・消費者に味覚を伝えるインスタプロモーションの提案・人体への安全性に考慮した非フッ素耐油紙を利用した食品包材の提案等、印刷物の生産にとどまらない新事業の開発の推進に努めてまいりました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は、10,985百万円（前年同四半期比804百万円増）となりました。また、営業利益は、662百万円（前年同四半期比52百万円増）、経常利益は680百万円（前年同四半期比68百万円増）となり、四半期純利益は、428百万円（前年同四半期比57百万円増）とそれぞれ増収増益となりました。

なお、当社グループの利益は、第1四半期は年賀状印刷の資材・販売促進費等の先行支出により低下、第2四半期は年賀状印刷の集中及び商業印刷の年末商戦の折込広告の大量受注により売上が拡大することにより増加、第3四半期・第4四半期は年賀状印刷事業は固定費のみが発生することにより、売上高に対する経費割合が高くなり利益が低下するという季節的変動があります。

セグメント別の業績を示すと、次のとおりであります。

(商業印刷事業)

商業印刷事業においては、既存顧客の広告費削減による影響はあったものの、受注シェアの向上や本州において新規大口顧客のレギュラーチラシ受注の獲得等があったことにより、当事業の売上高は5,207百万円（前年同四半期比110百万円増）となりました。

利益につきましては、利幅の薄い折込売上の受注が減少した一方で、印刷売上の割合が高まったことにより、営業利益は3百万円（前年同四半期の営業損失は79百万円）となりました。

(年賀状印刷事業)

年賀状印刷事業においては、効果的な販促活動により大口顧客からの受注が堅調に推移したことで取扱い件数が増加（前年同期比117%）し、当事業の売上高は5,753百万円（前年同四半期比694百万円増）となりました。

利益につきましては、営業利益は856百万円（前年同四半期比5百万円増）となりました。

(その他)

その他においては、北海道内の2店舗のプリントハウスにおいて、DPE、オンデマンドプリント等の商品・サービスの提供を行った結果、売上高は24百万円（前年同四半期比0百万円減）、営業損失は6百万円（前年同四半期の営業損失は6百万円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産・負債及び総資産の状況

当第2四半期連結会計期間末における総資産は12,136百万円となり、前連結会計年度末に比べ4,473百万円増加しました。これは主に現金及び預金が1,674百万円、年賀状印刷事業の売上に係る受取手形及び売掛金が1,051百万円増加したこと、伊勢原工場取得に伴い建物及び構築物が372百万円、土地が149百万円増加したこと等によるものであります。

負債合計は9,607百万円となり前連結会計年度末に比べ4,025百万円増加しました。これは主に年賀状印刷事業の仕入に伴う支払手形及び買掛金が2,049百万円、長期借入金が1,185百万円、未払法人税等が218百万円増加したこと等によるものであります。

純資産合計は2,528百万円となり前連結会計年度末に比べ448百万円増加しました。これは主に利益剰余金が403百万円増加したこと等によるものであります。

②キャッシュ・フローの状況の分析

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という）は2,878百万円となり、前連結会計年度末に比べ552百万円の増加となりました。当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの増減要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は1,279百万円(前年同四半期は1,689百万円の収入)となりました。これは主に売上債権の増加が1,051百万円あったこと等により資金が減少したのに対して、仕入債務の増加が2,049百万円、税金等調整前四半期純利益が675百万円、減価償却費が198百万円あったこと等により資金が増加したことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は894百万円(前年同四半期は314百万円の支出)となりました。これは主に有形・無形固定資産の取得による支出が894百万円あったこと等によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果得られた資金は1,289百万円(前年同四半期は296百万円の支出)となりました。これは長期借入れによる収入が1,900百万円あったことにより資金が増加したことに対し、長期借入金の返済による支出が565百万円あったこと等により資金が減少したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成27年7月期の業績予想につきましては、平成26年9月10日付「平成26年7月期決算短信〔日本基準〕(連結)」にて公表いたしました業績予想から変更はございません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年7月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成27年1月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,203,394	2,878,131
受取手形及び売掛金	1,718,061	2,769,278
商品及び製品	10,135	13,578
仕掛品	20,373	1,277
原材料及び貯蔵品	548,662	469,507
その他	162,924	1,272,556
貸倒引当金	△13,189	△14,877
流動資産合計	3,650,361	7,389,452
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	627,246	999,472
土地	1,013,601	1,163,579
その他(純額)	1,089,782	1,126,071
有形固定資産合計	2,730,630	3,289,123
無形固定資産		
その他	149,995	215,833
無形固定資産合計	149,995	215,833
投資その他の資産		
投資有価証券	686,527	756,246
関係会社株式	18,683	10,000
その他	466,569	513,318
貸倒引当金	△40,330	△37,600
投資その他の資産合計	1,131,448	1,241,963
固定資産合計	4,012,075	4,746,920
資産合計	7,662,437	12,136,373

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年7月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成27年1月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,282,958	3,332,024
短期借入金	1,022,300	1,171,750
未払法人税等	46,408	265,158
賞与引当金	14,269	11,507
その他	501,971	923,545
流動負債合計	2,867,907	5,703,986
固定負債		
長期借入金	2,227,226	3,412,548
資産除去債務	2,691	2,715
その他	484,738	488,624
固定負債合計	2,714,655	3,903,887
負債合計	5,582,563	9,607,874
純資産の部		
株主資本		
資本金	411,920	411,920
資本剰余金	453,546	453,546
利益剰余金	986,057	1,389,641
自己株式	△17,560	△18,163
株主資本合計	1,833,964	2,236,944
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	240,139	286,073
その他の包括利益累計額合計	240,139	286,073
少数株主持分	5,769	5,480
純資産合計	2,079,873	2,528,498
負債純資産合計	7,662,437	12,136,373

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年8月1日 至平成26年1月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年8月1日 至平成27年1月31日)
売上高	10,181,307	10,985,662
売上原価	7,031,740	7,681,420
売上総利益	3,149,566	3,304,241
販売費及び一般管理費		
運賃	621,262	699,733
貸倒引当金繰入額	—	990
給料及び手当	783,183	794,865
賞与引当金繰入額	9,907	9,646
その他	1,125,831	1,136,960
販売費及び一般管理費合計	2,540,184	2,642,197
営業利益	609,382	662,043
営業外収益		
受取利息	518	359
受取配当金	3,935	3,922
受取手数料	18,268	19,722
受取賃貸料	8,039	8,818
作業くず売却益	9,043	8,133
貸倒引当金戻入額	—	2,033
持分法による投資利益	1,393	—
その他	3,343	7,226
営業外収益合計	44,543	50,217
営業外費用		
支払利息	31,247	31,422
持分法による投資損失	—	407
貸倒引当金繰入額	8,618	—
その他	2,499	173
営業外費用合計	42,365	32,003
経常利益	611,560	680,257
特別損失		
固定資産除却損	44	2,290
投資有価証券評価損	4,999	900
関係会社株式売却損	—	1,275
特別損失合計	5,044	4,466
税金等調整前四半期純利益	606,515	675,791
法人税、住民税及び事業税	258,694	257,184
法人税等調整額	△23,160	△8,729
法人税等合計	235,533	248,455
少数株主損益調整前四半期純利益	370,981	427,335
少数株主利益又は少数株主損失(△)	178	△786
四半期純利益	370,802	428,122

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年8月1日 至平成26年1月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年8月1日 至平成27年1月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	370,981	427,335
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	66,589	45,933
その他の包括利益合計	66,589	45,933
四半期包括利益	437,571	473,269
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	437,392	474,056
少数株主に係る四半期包括利益	178	△786

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

	(単位：千円)	
	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年8月1日 至平成26年1月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年8月1日 至平成27年1月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	606,515	675,791
減価償却費	180,775	198,855
貸倒引当金の増減額(△は減少)	8,618	△1,042
賞与引当金の増減額(△は減少)	△4,592	△2,761
受取利息及び受取配当金	△4,453	△4,282
投資有価証券評価損益(△は益)	4,999	900
固定資産除却損	44	2,290
支払利息	31,247	31,422
為替差損益(△は益)	△35	△116
持分法による投資損益(△は益)	△1,393	407
関係会社株式売却損益(△は益)	—	1,275
売上債権の増減額(△は増加)	△1,644,712	△1,051,747
たな卸資産の増減額(△は増加)	9,904	94,807
仕入債務の増減額(△は減少)	2,454,448	2,049,066
未払消費税等の増減額(△は減少)	30,229	184,122
その他	99,061	△832,733
小計	1,770,657	1,346,255
利息及び配当金の受取額	4,453	4,305
利息の支払額	△30,610	△30,002
法人税等の支払額	△54,638	△40,730
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,689,862	1,279,828
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△266,933	△786,608
有形固定資産の除却による支出	△35	△750
投資有価証券の取得による支出	△4,019	△4,059
投資有価証券の売却による収入	—	5,000
関係会社株式の売却による収入	—	7,000
貸付けによる支出	△22,643	△1,000
貸付金の回収による収入	3,768	4,568
無形固定資産の取得による支出	△20,045	△107,996
差入保証金の回収による収入	4,387	10,050
その他	△8,849	△20,726
投資活動によるキャッシュ・フロー	△314,370	△894,522
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△300,000	—
長期借入れによる収入	500,000	1,900,000
長期借入金の返済による支出	△441,866	△565,228
リース債務の返済による支出	△20,703	△21,113
配当金の支払額	△23,503	△23,739
自己株式の取得による支出	△10,420	△603
財務活動によるキャッシュ・フロー	△296,493	1,289,315
現金及び現金同等物に係る換算差額	35	116
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	1,079,034	1,674,737
現金及び現金同等物の期首残高	1,246,724	1,203,394
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,325,758	2,878,131

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 平成25年11月1日 至 平成26年1月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結損益 計算書計上額 (注3)
	商業印刷 事業	年賀状印刷 事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	5,096,716	5,059,027	10,155,744	25,563	10,181,307		10,181,307
セグメント間の 内部売上高又は振替高	9,370	3,209	12,580	2,670	15,251	△15,251	—
計	5,106,087	5,062,237	10,168,324	28,233	10,196,558	△15,251	10,181,307
セグメント利益 又は損失(△)	△79,561	850,644	771,083	△6,228	764,854	△155,472	609,382

- (注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、プリントハウス事業を含んでおります。
- 2 セグメント利益又は損失(△)の調整額△155,472千円には、セグメント間取引消去2,394千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△157,866千円が含まれております。
- 3 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間(自 平成26年8月1日 至 平成27年1月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結損益 計算書計上額 (注3)
	商業印刷 事業	年賀状印刷 事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	5,207,405	5,753,446	10,960,852	24,810	10,985,662		10,985,662
セグメント間の 内部売上高又は振替高	1,486	3,035	4,522	1,583	6,105	△6,105	—
計	5,208,891	5,756,482	10,965,374	26,393	10,991,768	△6,105	10,985,662
セグメント利益 又は損失(△)	3,417	856,042	859,459	△6,496	852,963	△190,919	662,043

- (注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、プリントハウス事業を含んでおります。
- 2 セグメント利益又は損失(△)の調整額△190,919千円には、セグメント間取引消去1,944千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△192,864千円が含まれております。
- 3 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。